

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会子育て支援課	■担当係	児童係
■評価事業名称	保育活動支援事業		
■評価事業コード	400700 - 304	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	01 子育て環境の充実	
	■施策	04 幼稚園と保育園が連携した子育て環境の整備	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画		
■事業の概要	幼稚園・保育園・小学校の連携を充実させ、幼児教育・保育活動の向上を目指す。幼児教育推進員が幼稚園・保育園を訪問し、就学前教育・保育活動に対する助言を行うほか、幼児教育の相談に対応するとともに、幼保小の連携の充実等幼児教育振興プログラムを策定・推進する		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	保育活動支援事業	幼稚園、保育園の園児、職員		幼児教育振興プログラムガイドラインの実践。 実践モデル地区：2地区

3. 投入コスト情報

(単位：千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費		3,486	1,654	1,575	
人件費		736	973	1,023	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		4,222	2,627	2,598	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	アドバイザーの幼稚園・保育園の巡回訪問		138回	42回	43回	23年度から、支援を要する子への巡回については療育センターで一本化
03	きめ細かな保育が行われること		138回			
04	巡回訪問コスト		30.59千円	62.55千円	60.42千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

幼児教育振興プログラムガイドラインを実践するため、2地区(江釣子、黒沢尻東)をモデル地区に指定し、ガイドラインの実践を行った。2地区においては幼保小の交流がこれまで以上に盛んになるなど大きな成果を上げている。

問題点・課題等

平成26年度から全地区において試行を予定しているが、他地区においてもガイドラインの実践について理解をしてもらうよう活動を行っていくことが重要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明